

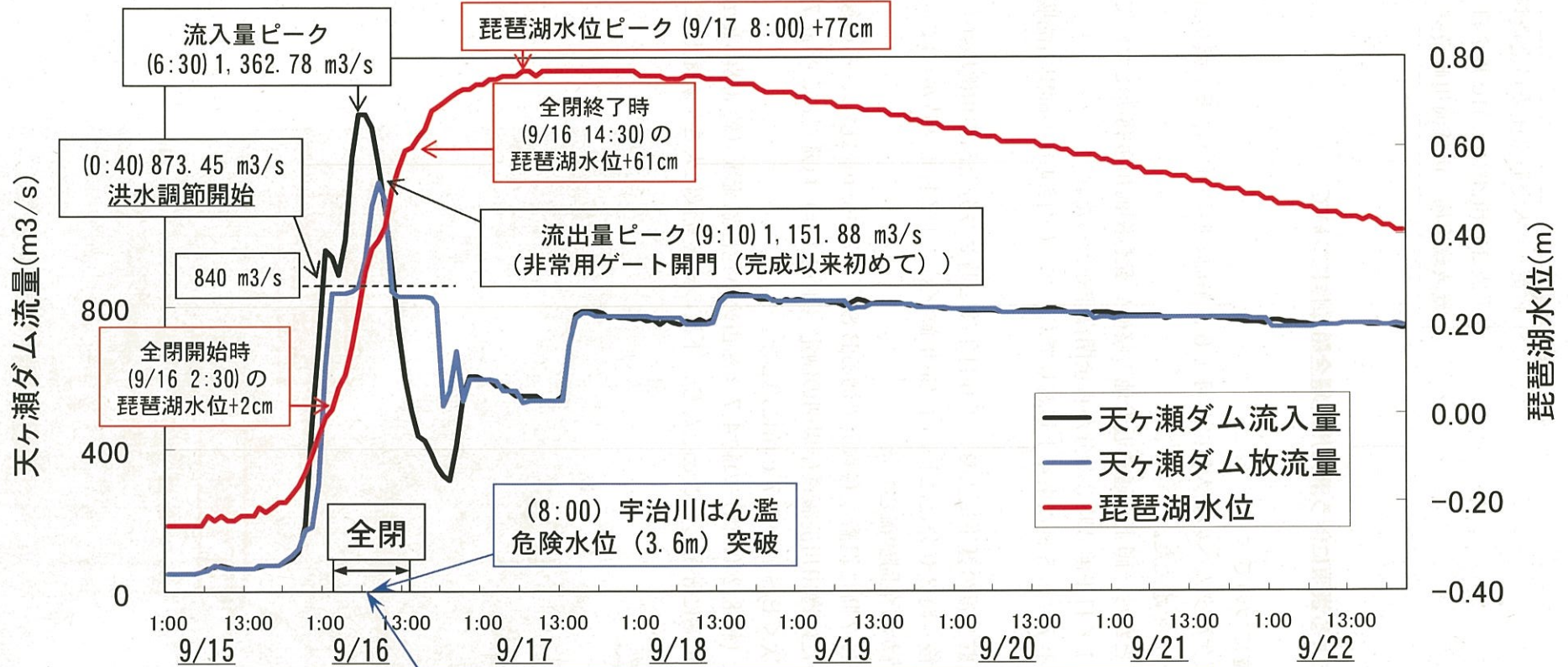
## 台風 18 号による豪雨に伴う瀬田川洗堰全閉操作について

### ◆瀬田川洗堰操作経緯と琵琶湖水位について

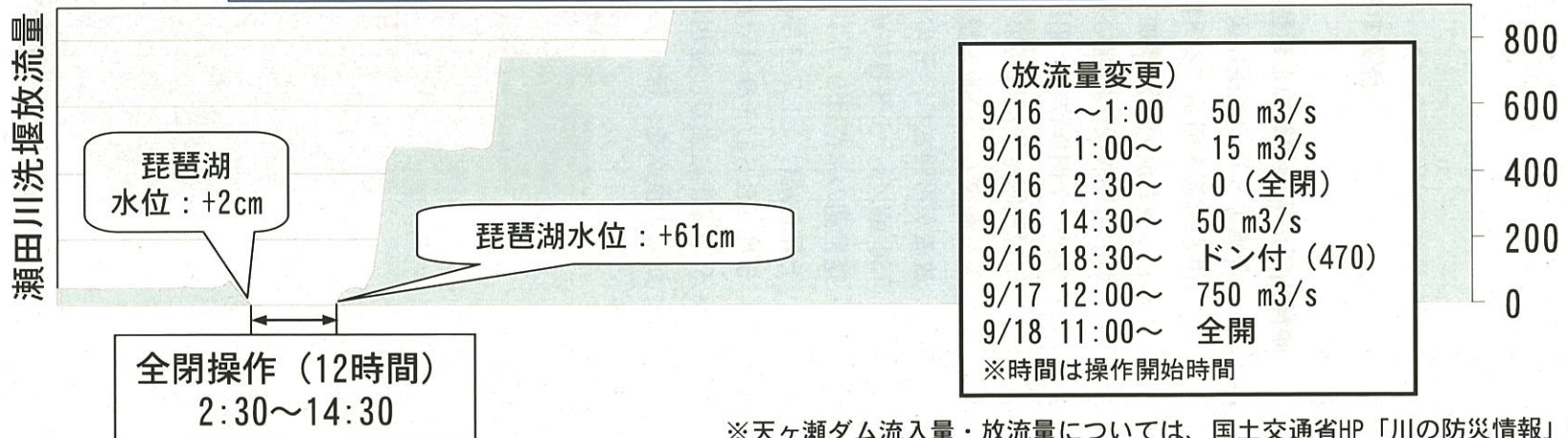
- ・台風 18 号の豪雨により、天ヶ瀬ダムへの流入量は 9 月 16 日午前 0 時 40 分に天ヶ瀬ダムが洪水調節を開始する 840 m<sup>3</sup>/s を超えた。
- ・その後も流入量が増加したことから、国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所において、瀬田川洗堰操作規則に基づき 16 日午前 2 時 30 分から全閉操作を行った。
- ・今回の全閉操作は、昭和 47 年 7 月 15 日以来 41 年ぶりであった。(平成 4 年の瀬田川洗堰操作規則制定後では初めて)
- ・天ヶ瀬ダムへの流入量・ダム貯水量の低下により、16 日午後 2 時 30 分に瀬田川洗堰からの放流が再開され、その後、午後 6 時 30 分にはドン付 (470 m<sup>3</sup>/s)、17 日 12 時から 750 m<sup>3</sup>/s、18 日午前 11 時から全開放流された。
- ・琵琶湖の水位は 9 月 16 日午後 7 時に氾濫注意水位である BSL + 70 cm に達し、その後も上昇を続け、17 日午前 8 時には瀬田川洗堰操作規則の制定 (平成 4 年) 以降では、平成 7 年 5 月 (BSL + 94 cm) に次ぐ BSL + 77 cm に達した。
- ・全閉操作により、淀川の流域 (約 8,240k m<sup>2</sup>) の約 47% を占める琵琶湖流域 (約 3,848k m<sup>2</sup>) からの洪水を、ほぼすべて琵琶湖に貯留したこととなり、下流の被害軽減に大きく貢献した。



# 平成25年9月15～22日 台風18号襲来時における瀬田川洗堰放流量と天ヶ瀬ダム流量



(7:57) 宇治川：宇治市の一部に避難指示 (約27,000世帯、6万2千人)



※天ヶ瀬ダム流入量・放流量については、国土交通省HP「川の防災情報」による。